

当面のスローガン

- 差別事件の糾弾闘争を強化
- 全ての学校で同和教育実践を!
- 全自治体で同和行政を!



解放新聞社山口支局

〒753-0074 山口市中央1-5-3  
 TEL 083-923-2303  
 FAX 083-921-1919  
 http://y-kaihou.jp  
 編集発行人 松岡 広昭

第53回全国女性集会

部落解放第53回全国女性集会在5月17、18日、三重県総合文化センターで開催され、36人が結集し、山口県連の各支部からも参加し学習と交流を深めた。

三重 全女に参加

部落女性の厳しい現実

初日全体会では川原みさこ(三重県連)さんが力強く『水平社宣言』を朗読し、解放歌合唱の中、荊冠旗入場がおこなわれた。

主催者・地元歓迎・来賓挨拶の後、経過報告、基調提案を受け、これまでの闘いの成果と課題を確認した。続いて「部落解放運動の現状と課題」と題して、松岡徹・中央書記長による記念講演がおこなわれた。

松岡書記長は、運動をとりまく情勢として、特措法後の行政の後退を「部落だけを素通りしていく差別行政」であると強く指摘。また、部落を隠すことではなく、部落を明らかにして

も差別されない社会」と再確認した。そして解放運動の現状を「戦後最大の危機」であるとして、「水平社精神の危機」と「部落民の危機」とは何かを提起した。また、水平社精神とは部落民の命と生活を守ることであることを強調した。

2日目は解放運動入門、狭山闘争、差別事件の実態、識字活動など8つの分科会で、実践報告や講演など学習・交流を深めた。(2面)

西村亘副知事、吉田正治・山口市副市長、関係団体を訪問し、西日本夏期講座山口大会の成功に向けた支援と協力を要請した。

西村副知事は「職員の人権研修の絶好の機会として位置づけ」夏期講座成功に向けて万全の協力をお願いしたい」と要請を受諾した。

西日本夏期講座は第12回大会が1987年に山口県で開催されて以来、22年ぶりとなる。部落差別の撤廃と人権の確立を目指す多くの人々4000人が県内外から参加する。

前回の山口大会では、夏期講座開催にあたり山口同宗連が結成された。来年の夏期講座成功に向けて、県連としてもこれから本格的に動き始めていく。

岡広昭・県連執行委員長と友永健三・部落解放・人権研究所所長が5月14日午後、

来年 夏期講座を山口で



西村副知事に夏期講座の要請依頼する松岡委員長



副市長に夏期講座の支援と協力を求めた

22年ぶりの山口大会

山県山市に協力要請

来年の7月に西日本夏期講座を山口市で開催することが決まった。22年ぶりの山口大会開催に向けて、松岡県連委員長、友永・研究所所長が副知事、山口市副市長や関係団体へ協力要請を行った。

第4回県連執行委員会(4/11)で、第34回部落解放・人権西日本夏期講座を

来年7月に山口市で開催することを決定した。これに先立ち、松

岡広昭・県連執行委員長と友永健三・部落解放・人権研究所所長が5月14日午後、



平岡候補の当選を祝う支援者

平岡秀夫さんが当選

山口2区補欠選挙で圧勝

衆議院山口2区補欠選挙が4月27日に

おこなわれ、民主党・平岡秀夫さんが大差をつけて当選した。

今回の選挙は福田政権になり最初の国政選挙となり全国から注目された。

山口県連は平岡秀夫候補を組織推薦して応援してきた。平岡候補は06年の衆議院法務委員会でも「人権擁護

法案」について政府の見解をただすなど、この間、部落解放・人権政策確立に向けても真摯に取り組んできた。

また、民主党の中でも護憲派で「リベラルの会」の中心人物でもある。今後も部落解放・人権確立に向けて議員活動をおこなってもらう議員として、県連として積極的に応援していく。



記念講演で「戦後最大の危機」を団結して乗り越えようと訴える、松岡徹書記長